

「人」と「まち」をつなぐ

スズノ

Ebino city Public relations

広 報

12 2013
DEC
vol.566

特集◎ 支え支えられる安心社会
住み慣れた地域で末永く



今月の掲載記事

平成 24 年度決算報告

CIVIC NEWS

まちのわだい

Face 人 鞍津輪彰さん

住み慣れた地域で末永く



村下キヨ子さん（写真右）宅は、いつも笑い声が絶えません。村下さんは、歩行に支障があり、要支援の認定を受けています。家には、生活を支えてくれる友だちが集まり、世間話に花が咲きます。気さくな村下さんは、笑顔と手づくり料理で友だちをもてなします

3人に1人が高齢者という超高齢社会を迎えたえびの市。このような中「いつまでも住み慣れた地域で暮らしたい」というのは、誰もが望むことです。いつまでも住み慣れた地域で暮らす

ためには、身の回りのことは自分で行う「自己力」を高めることや、地域の人々との間の助け合いにより行われる「互助」、介護保険を中心とする「共助」と、税による「公助」がうまく連携し

て機能することが必要です。えびの市では、市民協働のまちづくりに取り組んでいます。いつまでも住み慣れた地域で過ごすためには、何が必要か一緒に考えてみましょう。



超高齢社会を迎えた えびの市

○近い将来2人に1人が高齢者

平成25年4月1日現在、えびの市の総人口は、2万1478人、うち65歳以上の高齢者は、7638人(35.56%)と約3人に1人以上が高齢者です。

高齢者の内訳をみると、65歳から74歳の前期高齢者は2966人で総人口の13.81%、75歳以上の後期高齢者は4672人で総人口の21.75%を占めています。高齢化率は今後も上昇を続け、近い将来、市民の2人に1人が65歳以上の高齢者になると推計されています。

えびの市では、急速な高齢化に伴い、今後、寝たきりや介護が必要な高齢者が急速に増え、高齢者が高齢者の面倒をみる老老介護世帯や、高齢者の1人

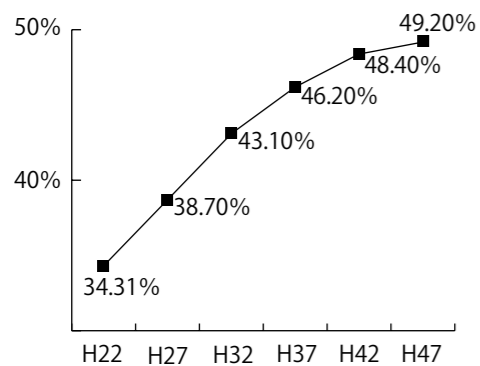
世帯が増えることが予想されます。いったん介護を必要とする状態になつてしまうと、元氣だったころの体になかなか戻りにくいのが現状です。そのため、介護期間は長期化し、介護する人の負担はますます重くなつていきます。

○増え続ける要介護高齢者

えびの市での介護保険制度の要介護者、要支援者と認定された人は、平成24年度末では1592人で、年々、増加しています。

介護が必要となった理由を原因別でみると、「認知症」が19.6%と最も多く、次いで、「関節疾患」17.9%、「脳血管疾患」16.4%、「高齢による衰弱」2.6%となつています。

○えびの市の高齢化率の推移



※H 27～H 47は、「日本の市町村別将来推計人口」の推計をもとに宮崎県が独自に推計した数値

◎尊厳のある「自助・自立」

住み慣れた我が家で暮らし続けたい

Case1 ◎夫婦の絆

突然倒れた妻

7年間、休まず続ける介護

樋嘉兼矩さん(83歳)・ヨネさん(83歳)

平成15年4月10日は、4月にしてはとも寒い日でした。いつもどおりの生活をしていたのですが、その日の午後7時ごろ、夕食の準備をしていた妻が突然、倒れました。私は慌てて、救急車を呼びました。妻が倒れる前、「お父さん、手がしびれる時がある」と話をしていました。まさか、倒れるとは

の方がいいのではないかと退院させることを決意しました。

。搬送先の病院で診察を受けたのですが、その病院では妻を診ることができず、少し大きな病院に運ばれました。診断で妻は、脳内出血でした。その日から妻は、左半身まひとなりました。その病院で3か月ほど入院をした後、病院を転院しました。転院先の病院で3年ほど入院生活を送っていましたが、いろいろあって、「病院より家

の介護生活が始まりました。私の日課は、妻より少し早く起きて、食事の準備。もちろん自分の食事も作っています。妻が起きたら、顔を洗い、食事を食べさせます。食事が終わると、歯を磨き、妻の髪の手入れをします。1日3食の食事と食後のハミガキ、1日4〜5回トイレの世話をし

ています。寝る時は、簡易ベットを横に置いて寝ます。そういった生活を7年間続けています。

介護を始めたころは、妻の力の入る軸足を支えに、車いすに移すことができなくなりましたが、最近では、妻を抱え上げるようにして、車いすに移すため、体には、負担がかかります。

現在、妻は、デイサービスを週2回利用し、そこで入浴させてもらっています。

ます。訪問看護も利用し、体調管理とリハビリをしています。妻がデイサービスを利用している間は、家の掃除などを行っています。趣味だったサツキの盆栽は辞めましたが、その代わり、夏には、スイカとトマトを作っています。お世話になっている人に、食べてもらい、喜ぶ顔を見るのも楽しみの一つになりました。

Case2 ◎家族の絆

少しでも現状を維持 1年でも家族と暮らしたい

入佐三良さん(81歳)・マツエさん(85歳)

私は、妻と息子の3人暮らしです。繁殖牛を4頭飼い、米や野菜を作っています。実際、働いているのは息子です。私は、飼料や人工授精の手配など

をしています。あと、息子に「そろそろあれの時期だね」とアドバイスをすることぐらいです。私は両ひざが悪く、歩く痛みがあ

ります。痛みとは長いこと付き合ってきましたので、だましましたし、畑仕事などをしてきました。

平成22年に首の痛みと手のしびれを感じました。それから私は、歩くところがつくようになりました。病院で診察してもらったと、頸椎症性脊髄症と診断されました。医師から「放っておくと歩けなくなる」と言われ、手術をしなければいけないと言われたが、今でも手にしびれが残ったままです。術後は、松葉づえを使って歩いています。ひざも悪化し、農作業は全くできなくなりま

した。私は、手先の器用さには自信があったので、自分の状態に合わせて、家の中に手すりを付けたり、歩行器を作ったりしました。

平成24年になると、今までできていたかな削りなどができなくなりました。その年の5月に、住宅改修を希望して介護保険認定を申請し、要支援1の認定を受けました。その時、訪問したケアマネジャーの勧めもあり、訪問看護のリハビリを利用するようになりました。

平成24年9月、妻が圧迫骨折で入院しました。妻の入院中は、市外に住む娘たちが食事の準備をしてくれました。その後、妻は退院をしたのですが、背中の痛みの影響か、家の中にいることが多くなりました。そのことをケアマネジャーに相談し、妻もその年の12月に、要支援1の認定を受けました。それから妻は、週1回のデイサービス



を利用するようになり、表情も明るく
なりました。
ケアマネジャーなどが来てくれる
と、いろいろ話をすることができま
す。私は、訪問を楽しみにしていま
す。
訪問介護を受けるようになってか
ら、私は、現状を維持しています。妻

も昔のように明るく、おしゃべりにな
りました。2人でサービズを利用して
いるので、家計は大変です。でも、わ
が家は、1人でも欠けたら今の生活が
できなくなってしまう。私も妻も
これ以上状態を悪化させず、現状を維
持していきたいと願っています。

Case3 ◎家族の絆

同居の声に感謝しつつ 自宅でのんびり暮らしたい

大西 登さん(86歳)

平成15年に暖かいところで、のんび
り好きな釣りなどをしながら暮らそう
と、北九州から引っ越してきました。
えびのに来てからは、いろいろな縁も
あり、友だちや仲間も増えました。好
きな魚拓づくりも、彩色する技法で続
けています。

平成20年に高齢者クラブで行った人
吉の温泉で、脳梗塞と大動脈瘤で倒れ
ました。「お父さんの一人暮らしが心
配だから」と北九州に住む娘がえびの

に来て同居を始めた直後でした。それ
から2年間入院治療を続けました。娘
がいたお陰で、看病してもらえて助か
りました。

今も、脳梗塞の後遺症で右足がいう
ことをききません。運転や歩くことは
何とができますが、時間がかかりませ
す。

平成23年に、高齢者クラブ会長の勸
めもあり、社会福祉協議会を会場に行
われている「元気はつらつ運動教室」
に参加するようになりました。教室で



は、先生がよく面倒を見てくれます。
一緒に参加している人もゆっくり待っ
てくれます。みんなと一緒に楽しく話
しながら、1時間半ほどストレッチや
体操などをします。帰りの足は運動す
る前よりも軽く、歩きやすくなってい
ます。教室は、楽しく、参加してよ
かったです。今では、病院に行く日が、
教室の日と重ならないようにしていま
す。

せんからね。これからも今の体力を維
持しながら暮らしていきたいと思っ
ています。
一緒に暮らしている娘ですが、ひ孫
の子守で北九州に帰ります。息子も北
九州にいます。息子から「お父さん、
向うで一緒に暮らそう」と言われてい
ます。娘は「動けなくなったときは知
らんよ、そばに居られんよ」と言いま
す。でも、子どもたちに面倒をかけた
くないと思っています。
えびのでたくさんの友だちや仲間が
できました。私は、ここで釣りや魚拓
づくりを楽しみながらのんきに暮ら
したいと思っています。



◎地域で安心して暮らすための「共助」 自助・自立を支える介護サービス

◎介護保険で利用できる在宅サービス

介護保険のサービスには、「自宅で受けるサービス」「施設で利用できるサービス」「福祉用具や住宅改修」があります。

○自宅で受けられるサービス

訪問介護（ホームヘルプサービス）

ホームヘルパーなどが家庭を訪問して、食事、入浴、排せつの介助や日常生活の手助けを行います。

訪問看護

看護師・保健師などが、主治医と連携を取りながら症状を観察したり、手当などをしたりします。

訪問リハビリ

理学療法士や作業療法士などが家庭を訪問して、リハビリテーションを行います。

訪問入浴

入浴設備や簡易浴槽を積んだ移動入浴車で訪問して、ベッドサイドで入浴介助を行います。

○施設で利用できるサービス

通所介護（デイサービス）

施設に通い、食事・入浴の提供や日常生活動作の訓練、レクリエーションなどが受けられます。

通所リハビリテーション（デイケア）

施設に通い、食事・入浴のほか、理学療法士や作業療法士による専門的なリハビリが受けられます。

短期入所生活

施設に短期宿泊しながら、介護やリハビリなどを受けられます。

短期入所療養介護

老人保健施設や医療施設に短期間入所して医療上のケアを含む介護やリハビリなどを受けられます。

○福祉用具や住宅改修

福祉用具の貸与

車いすやベッド、歩行器などの福祉用具を借りることができます。

福祉用具購入

排せつや入浴に使われる用具等の購入ができます。

住宅改修

自宅への手すりの取り付けや段差解消などの改修ができます。



デイサービスでは、レクリエーションなどで楽しく過ごします



予防訪問介護では、ホームヘルパーが自宅を訪問し、生活援助などを行います（浅田さん宅）



ベッドサイドで入浴介助を行う移動入浴車



住宅改修は、暮らしやすい住環境づくりを支援します



ヘルパーの訪問を楽しみにしている利用者も多い

※これらのサービスを受けるには、介護が必要であることの認定を受ける必要があります。詳しくは、長寿介護課 35・1111（内線287・254）まで問い合わせください。

○住宅改修サービス
介護や介護予防に役立つ手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修をした際、20万円を上限に、改修にかかった費用を支給します。利用する場合は、事前の申請が必要です。

利用者の家族は、デイサービスの時間、介護のことを忘れ、自分の時間をつくることができます。デイサービスは、休みなく介護を続けている家族の負担軽減も担っています。
入浴サービスは、「家の風呂がバリアフリーになっていなくて怖くて入れない」という人などが利用できます。

○通所介護（デイサービス）
「利用者には、友だちと会話を楽しんでもらい、1日をゆつくりと過ごしてもらっています」と話すのは、社会福祉協議会ふれあい館の益山憲一所長です。
デイサービスは、ひきこもりがちな高齢者に対して、食事、入浴などの日常生活の支援やレクリエーションなどを行っています。「人との交流を楽しんで、1日を過ごしたい」という高齢者が利用しています。

○予防訪問介護
訪問介護・予防訪問介護は、ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴、排せつ、食事等の身体介護や調理、洗濯などの生活援助を行います。
「ここ掃除機をかけるね、浅田さんは、机を片付けてね」と浅田睦子さん（91歳）に声をかけるのは、ホームヘルパーの上園弘美さんです。
浅田さんは、ひとり暮らし。要支援1の認定を受け、9月から週1回、予防訪問介護の家事支援を利用しています。「食事の準備や洗濯は自分でしていますが、掃除まではなかなか手が回しません。家事支援は、すごく助かっています」と浅田さん。

◎「自己力」を高めて介護予防 楽しみながら運動能力と脳力を鍛える



脳の健康教室では参加者のペースに合わせた学習が行われます

一般に記憶力や処理速度などの認知機能は、年齢と共に低下します。高齢期に認知機能が低下すると認知症などを患い、日常生活に多くの不具合を生じます。このため、高齢期でも認知機能をなるべく維持向上することが望まれます。

長い人生を自分らしく過ごすためには、心と体の健康寿命を伸ばすことが大切です。そのためには、日ごろから心と体の機能の維持・向上を図る「介護予防」を行うことが重要です。

○脳を鍛えて認知症予防

「折り紙は学習より難しか」「これは、どげなふうに折っと」「やっとできた。難しかった」声が響きます。これは、週1回、市役所で行われている脳の健康教室の様子です。折り紙を使った指の体操では、会話や笑顔があふれ、いつもにぎやかです。

教室では、読み書き・計算、数字盤を使っての学習とさまざまなレクリエーションが約1時間行われます。現在の教室の参加者は13人。皆さん、「自分が認知症にならないように」と自主的に参加して学んでいます。

教室は、週に1回ですが、次の教室までの宿題があります。宿題は、教室でも行っている読み書き・計算で、10

分程度のものです。

参加者の永倉ミツエさん(82歳)は、「毎週水曜日を楽しみにしています。家での宿題も日課となりました。ひ孫の宿題をするスピードについていけないようになりました」と教室の効果を実感しています。

教室を担当する市の萩原保健師は、「学習も大切ですが、みんなで話をすることや笑いあう時間が大切です。教室が終わっても、新聞などは声を出して読む、買い物などで簡単な計算をするなど習慣をつけてもらえれば」と話します。



脳の健康には会話や笑いも大切です

○運動で筋力アップ介護予防

「できないときは、無理しないでくださいね。いいですね、ちよちよどいと思ったらあと1回やってみてください」これは、元気はつらつ運動教室を指導する健康運動指導士の穏やかな指導の声です。

市では、市内5会場(真幸地区体育館、総合福祉センター、上江地区体育館、飯野駅前地区体育館、飯野地区コ

ミュニティセンター)で、元気はつらつ運動教室を実施しています。

月2回、約90分の教室では、まず、その日の健康状態チェック(血圧測定や体調など)を行います。それが終わると、20分〜30分準備運動として、ストレッチを行います。体が温まってきたところで、本運動。本運動では、スローストレッチを中心とした体操やゲーム性のある運動を他の参加者と会話をしながら行います。



運動教室ではゴムシート等を用いて運動を行います



健康運動指導士のわかりやすい説明が参加者に好評です

夫婦で参加の加世田純治さん(80歳)は、「骨折をして苦労していました。が、教室に通い始めて、自宅菜園ができるようになりました。参加してよかったです」。妻のツル子さん(72歳)は、「朝起きて、夫と一緒に運動をしています。教室も会話をしながらの運動ですので楽しいです。同級生との出会いもあり、友だちもできました」と楽しそうです。

担当の出口保健師は、「運動を継続

していると、生活の質そのものを向上させることができます。筋力低下などが気になり始めたら、見学でも構いませんので、参加してみませんか」と話します。

楽しみながら行う運動は、認知症予防にも効果があるといわれています。筋力アップと認知症予防を実践できるのが元気はつらつ運動教室です。



温かい料理が運ばれ、参加者の話も盛り上がります (杉水流自治会)



杉水流自治会の地域支え合いボランティアの皆さん

◎地域の助け合い「互助」 高齢者に笑顔を届ける 地域支え合い事業

高齢者の独り暮らしや高齢者だけの世帯では、年を重ね、体の自由が利かなくなると毎日の食事づくりが負担となってしまう。また、人に会うことや出かけること、洗濯、掃除などの家事全般がおっくうになっていきます。このような状態で風邪などをひいてしまうと、閉じこもりがちな生活へと進んで行ってしまいます。

地域の高齢者は地域で支えようと「地域支え合い事業」を行っています。月1回高齢者に公民館に来てもらい、軽体操やレクリエーションを行います。

この取り組みの最大の魅力は、昼食です。地域の主婦が中心となったボランティアが昼食を作り、温かいうちに提供されます。ボランティアは、仕込みから配膳まですべての作業をこなします。昼食は、参加者とボランティアみんなで食べます。いつも地域の話題などで盛り上がる楽しい時間です。



昼食前には軽体操やレクリエーションを行います

ボランティアの外赤純子さんは、「みんな楽しんでやっています。料理を作るときも、いろいろな情報交換の場です。参加者からおいしい料理をありがとう、月1回の支え合い事業を楽しみにしていると言われるとうれしくなります」と微笑みます。

interview

地域包括支援センター、在宅介護支援センターの担当者に話を聞きました。



地域包括支援センター
竹中康代 社会福祉士

悩みを打ち明けるだけでも 気持ちにゆとりが出てきます

介護者は、問題を1人で抱え込み、心身共に疲れてしまう場合があります。介護される人と介護する人が常に向き合いすぎると、マイナス面だけにとらわれてしまいがちです。悩みを打ち明けるだけでも気持ちにゆとりが出てきます。介護の専門職員の話も参考になります。

介護者の気持ちにゆとりができると、相手に穏やかに接することができます。悩みを1人で抱え込まないで、気軽にセンターに相談してください。



地域包括支援センターと在宅介護支援センターは情報の共有を行い高齢者の把握に努めています

◎介護サービスを利用するには

介護サービスを利用するためには、「介護が必要である」ことの認定を受ける必要があります。

①申請する

介護サービスの利用を希望する人は、市長寿介護課、飯野・真幸出張所、指定居宅介護支援事業所などで申請をします。

②認定調査・医師の意見書

担当職員が自宅を訪問し、心身の状況など本人や家族から聞き取ります。また、主治医から心身の状況についての意見書を作成してもらいます。

③審査・認定

調査訪問の結果と主治医の意見書をもとに、審査会で介護の必要性や程度について審査します。

④認定結果の通知

原則、申請から30日以内に認定結果通知書と結果が記載された保険証が届きます。

⑤ケアプランの作成

本人、家族の意向をもとに各種サービスを組み合わせたケアプランを作成します。

⑥サービスの利用開始

ケアプランに基いたサービスを利用できます。利用者の負担は、原則としてかかった費用の1割です。

「自分の手で介護したい。でも、もう疲れてしまった。休みなく介護を続けていると誰でも疲れがたまります。介護が長期化すればするほど、介護する人の肉体的・精神的負担は重くなります。近くに、親族がいない、相談する相手がいけないなどの理由で、負担をひとりで抱え込んでしまう場合もあります。

介護する側にも息抜きは必要です。ひとりで負担を抱え込まないために、介護サービスを上手に利用しましょう。地域包括支援センターまたは在宅介護支援センターに相談して頑張りすぎない介護を心がけましょう。

○総合窓口の地域包括支援センター

地域包括支援センターは、介護支援と高齢者の生活上の悩みに関する総合的な窓口です。

地域包括支援センターでは、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー等の専門職種が連携し、皆さんが安心して生活できるように、介護予防や制度の案内・高齢者からのさまざまな相談などに対応しています。

◎安心を支える「共助・公助」 ひとりで抱え込まないで 上手に活用「介護サービス」

○身近な窓口在宅介護支援センター

在宅介護支援センターは、市内4か所に開設され、地域の身近な相談窓口として市からの委託を受けて運営しています。連絡を受けると、センターの職員が自宅を訪問して相談を受けま

地域包括支援センター・在宅介護支援センター

地域包括支援センター	☎ 35-1111 (内線 254)
東部在宅介護支援センター (飯野北部)	☎ 33-2377
南部在宅介護支援センター (飯野南部)	☎ 25-3222
中部在宅介護支援センター (加久藤)	☎ 35-0066
西部在宅介護支援センター (真幸)	☎ 37-3085



中部在宅介護支援センター
坊野美智子 さん

どんなささいなことでも構いません。 ご自宅で話をうかがいます

在宅支援センターへの相談は、「家族や親せきが近くにおらず、1人だから今後が不安だ」「歩くのがやっただ。ここに手すりがあればいいのに」など、どんなささいなことでも構いません。

介護のことで、どこに相談したらいいのかわからない場合も、私たちが在宅介護支援センターにご連絡ください。自宅を訪問し、相談を聞きます。定期的に担当地区を訪問していますので、動く相談窓口と思ってもらい、気軽にご相談ください。

支えることが支えられる 安心につながる



内閣府の「平成24年版高齢社会白書」では、これまでの「人生65年時代」を前提とした高齢化社会の在り方から「人生90年時代」を前提とした、豊かな人生を享受できる超高齢社会を目指すものへ転換させる必要があるとしています。

65歳以上の高齢者は、これまで一律に支えられる側とされてきました。しかし、これからは意欲のある人には、豊かな経験と能力を生かし、できるだけ支える側に回ってもらうことが、高齢者の生きがいづくりや、世代間のバランスを保つことにつながります。地域での高齢者の社会参加を促すため、各自治会などで地域の特性を生かした、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、高齢者を含めた住民が連携することが重要です。

現在、国は、社会保障制度を中心とする共助と公助のあり方の見直し作業を行っています。しかし、どのような制度になっても、今後ますます重要になってくるのが地域に根ざした助け合い「互助」であると考えられます。地域の助け合いを推進するには、自助・互助・共助・公助がうまく連携して機能することが必要です。市では、これからも自助や互助が行いやすくなるように、自治会をはじめとする地域力や仲間力を高めるための環境づくりに努めます。

東部高齢者クラブ舞踊教室の皆さんは、毎月1回、えびの市老人福祉センターで練習を行います。練習後、皆さんは、同センターで、いろいろな会話をしながら、仲間との交流を深めています。

目的別の歳出の状況 ※()は前年度比

- ◎**議会費**・・・1億5,432万2千円(8.7%減)
議会の活動に要する経費です。
- ◎**総務費**・・・21億403万2千円(18.4%減)
市有財産の維持管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員の人事などに要する経費です。
- ◎**民生費**・・・37億5,246万1千円(5.2%増)
社会福祉(身体障害者・高齢者・児童に関する福祉)や生活保護などに要する経費です。
- ◎**衛生費**・・・9億2,415万6千円(2.7%減)
市民が健康で衛生的な生活環境を保持するためや、ごみの処理などに要する経費です。
- ◎**労働費**・・・2,947万1千円(77.5%減)
労働者のための施設の管理・雇用対策などに要する経費です。
- ◎**農林水産業費**・・・10億3,522万3千円(51.1%増)
農業委員会や、農業・畜産・林業の振興などに要する経費です。
- ◎**商工費**・・・2億4,838万6千円(10.3%減)
商工業の振興や、観光事業、企業誘致などに要する経費です。
- ◎**土木費**・・・7億5,856万9千円(13.6%増)
道路の新設や維持管理、市営住宅の維持管理などに要する経費です。
- ◎**消防費**・・・3億1,804万2千円(8.7%減)
消防や災害対策に要する経費です。
- ◎**教育費**・・・6億7,495万8千円(5.3%減)
小・中学校、教育委員会、社会教育や、市内体育施設の維持管理などに要する経費です。
- ◎**災害復旧費**・・・6,613万5千円(39.3%減)
災害によって生じた被害の復旧に要する経費です。
- ◎**公債費**・・・8億7,189万8千円(11.8%減)
市債の償還に要する経費です。
- ◎**合計**・・・109億3,765万3千円(2.2%減)

用語の説明

- 【**地方交付税**】地方公共団体が等しくその行うべき事務を遂行できるよう、一定の基準により国を通じて交付されるお金。
- 【**国庫支出金**】国から地方自治体に支出される補助金や委託金。
- 【**市債**】市がさまざまな事業を行う時、長期にわたって借りるお金。
- 【**自主財源**】市が自ら徴収または収納できる財源。市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入など。
- 【**依存財源**】国や県により交付されたり、割り当てられたりする財源。地方交付税、国庫・県支出金、地方譲与税、市債など。
- 【**義務的経費**】歳出のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費。人件費、扶助費、公債費。
- 【**投資的経費**】歳出のうち、その支出が建物、学校、道路など、資産形成に向けられる経費。
- 【**人件費**】市職員給与、市議会議員・各種委員報酬など。
- 【**扶助費**】法令に基づき、被扶助者に支出される経費。児童手当、医療扶助、教育扶助など。
- 【**普通建設事業費**】道路、橋梁、学校、庁舎等公共用または公用施設の新設増設等の建設事業に要する投資的経費。

■お問い合わせ先
市財政課財政係
☎ 35 - 1111 (内線 381)

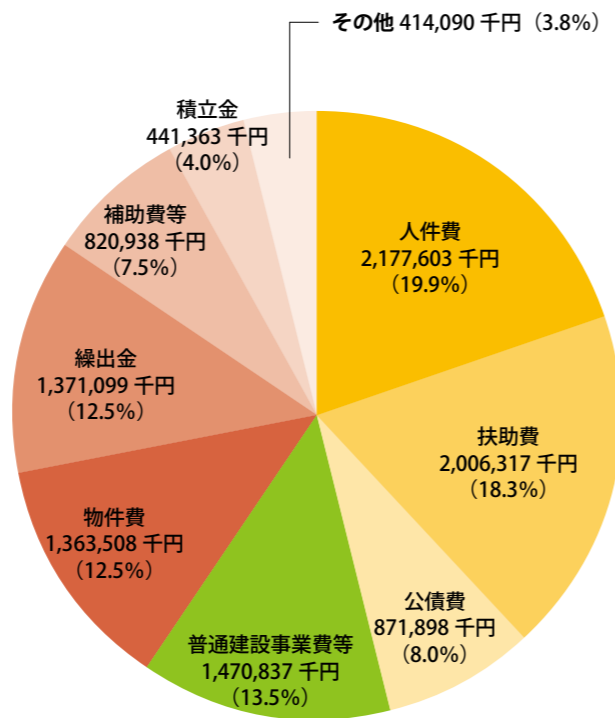
平成 24 年度

決算

一般会計 歳出 総額

109 億 3,765 万 3 千円

対前年度比 2.2% 減



オレンジ：義務的経費 緑：投資的経費 赤：その他の経費

当てられたりする依存財源に分けられます。歳出は、公債費、災害復旧費などの減により、対前年度比2.2%の減となりました。歳出を性質別に大別すると、人件費・扶助費・公債費の合計である義務的経費、普通建設事業費・災害復旧事業費の合計である投資的経費、物件費・繰出金・積立金・補助費等などのその他の経費に分けられます。

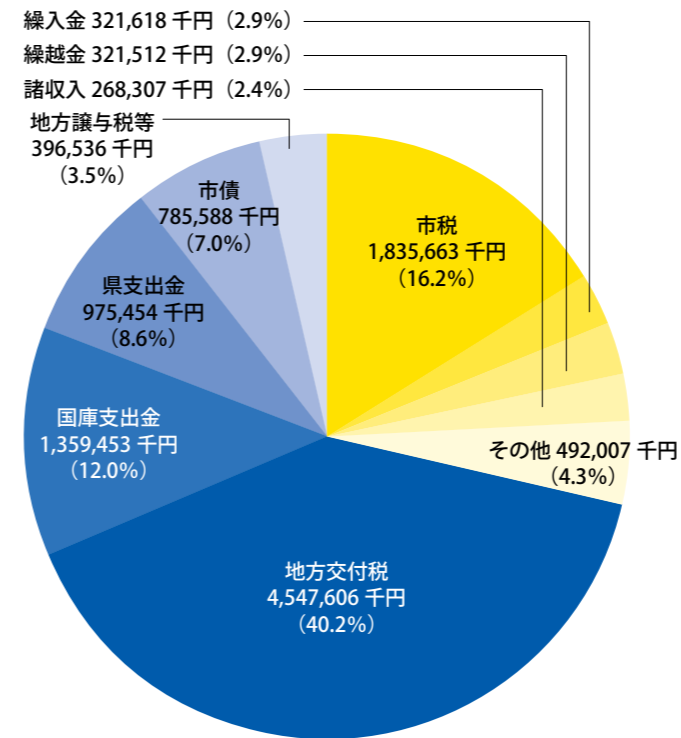
報告

【地方財政状況調査】

一般会計 歳入 総額

113 億 374 万 4 千円

対前年度比 1.7% 減



※()は構成比 黄：自主財源 青：依存財源

平成24年度一般会計の決算状況は、歳入総額113億374万4千円、歳出総額109億376万5千円、差し引き3億660万1千円となりました。歳入は、地方交付税、国庫支出金、繰越金などの減により、対前年度比1.7%の減となりました。歳入は、市が自ら徴収または収納できる自主財源と、国や県から交付されたり、割り

平成24年度 一般会計の決算状況

特別会計・企業会計決算

【単位:千円】

区分	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	3,706,345	3,443,957
後期高齢者医療特別会計	617,466	616,616
介護保険特別会計	2,807,747	2,744,749
介護サービス事業	22,363	22,008
観光特別会計	31,168	30,981
水道事業会計	342,224	293,291
資本的収支	96,726	303,612
病院事業会計	825,348	867,359
資本的収支	15,830	22,899

国民健康保険のように、特定の人たちの相互扶助を目的とした事業は、原則として、利益を受ける人たちが負担するお金で運営します。そのため、一般会計とは別の「特別会計」となっています。

市民負担の状況

【単位:円】

区分	決算額	一人あたり	一世帯あたり
市民税(個人)	514,077,425	23,935	50,203
固定資産税	945,804,809	44,036	92,364
軽自動車税	65,386,600	3,044	6,385
市たばこ税	124,611,331	5,802	12,169
入湯税	4,524,600	211	442
国民健康保険税	568,916,465	76,694	133,423

住民基本台帳人口21,478人、10,240世帯で算出。国民健康保険被保険者は7,418人、4,264世帯。(平成25年3月31日現在)
※滞納繰越金を除きます。
※各税目は、納める対象者が決まっており、各個人の税負担額はそれぞれ異なりますが、ここでの一人・一世帯あたりの金額は、単純に決算額を人口・世帯数で割って算出しています。

財産の状況

◎公有財産、物品

区分	面積・数量等
土地	10,320,287.73㎡
建物	137,018.90㎡
物品	物品のうち公用車135台

◎債権、基金

【単位:円】

区分	23年度末残高	増減	24年度末残高
有価証券	16,643,700	0	16,643,700
出資による権利	55,616,575	0	55,616,575
債権	457,843,238	-4,421,911	453,421,327
基金	7,113,766,516	137,657,460	7,251,423,976

市債の借入残高の状況

【単位:千円】

区分	23年度末残高	増減	24年度末残高
一般会計	7,316,754	20,791	7,337,545
水道事業会計	988,371	35,147	1,023,518
病院事業会計	40,266	-6,049	34,217
一時借入金	-	-	-

特別会計・企業会計決算、市民負担の状況、財産の状況は【平成24年度決算書】

CIVIC NEWS

市政ニュース

民生委員・児童委員に委嘱状を交付 社会福祉の増進に尽力します

12月2日、57人の民生委員児童委員と4人の主任児童委員に委嘱状が交付されました。

民生委員児童委員は、厚生労働大臣からその任務を委嘱され、一定の担当地区を持ち、市民の皆さんが安心して暮らせるようお手伝いをしていきます。

児童委員は、民生委員が兼ねており、担当地区を持つ児童委員と、担当地区を持たず児童委員と、担当地区を持たず主任児童委員がいます。

民生委員児童委員には報酬はなく、活動に必要な交通費等以外はボランティアで活動しています。任期は3年です。同委員は、地域に住んでいる人の福祉に関する問題や要望を調査する相談活動を行います。

生活に困った人や高齢者、障害者、児童・生徒、ひとり親世帯などから相談を受け、解決のお手伝いをします。

しかし、相談によっては、その場で解決できないこともあります。その時は、専門機関を紹介するなど、解決に向けてのお手伝いをします。お気軽にご相談ください。

問 福祉事務所福祉係
内線261



委嘱状は一人ずつ、市長から手渡しされました

【飯野地区】

担当区	氏名	担当区	氏名
堀浦	川野記代	西上江・中上江	園田軍志
上大河平	木下幸夫	上上江	松元勝子
下大河平	畑田蓉子	上上江	竹本秋行
下大河平	新久保一夫	駅前	田中千鶴子
杉水流・五日市	篠原なみ子	駅前	大出水裕見子
東原田	伊地知みどり	上原田	伊地知興子
麓	坂元眞	中原田	今村守
麓	濱田喜八郎	南原田	武田クミ子
町・片馬場	上原勝己	南原田	齊藤克子
町	山本みどり	田代	上野憲昭
前田・坂元	東脇順子	出水	坊野典義
芋畑・高野	吹上廣美	末永	上園勝夫
大明司・山内	吉鶴純男	白鳥	西幸一
池島・今西	地主久榮		

【加久藤地区】

担当区	氏名	担当区	氏名
松原・麓	山内勇	大溝原・灰塚	前田寛道
前松原	佐藤以津子	永山	秦工ミ子
中島	高野清廣	湯田	本田敏光
中島	瀬戸山チリ	東川北	清藤茂樹
西郷	松田輝久	榎田・牧ノ原	榎園賢二
栗下	上谷川則男	東長江浦上・下	井園甚市
西長江浦上・下	栗下軍治	尾八重野	稲泉真理子

【真幸地区】

担当区	氏名	担当区	氏名
水流	佐々木壽徳	京町	鶴田律子
南・北昌明寺	野田幸一	京町	田代重光
東・中内堅	弓場岩男	上向江・下浦	深利茂男
西内堅	寺田悟	中浦	末原和子
溝ノ口・北岡松	下原逸男	上浦	古城房子
南岡松	松下美智子	上島内	園田義保
柳水流・亀沢	境田弘子	下島内	色紙純義
京町	岡村輝美	西川北	黒木道博

【主任児童委員】

担当区	氏名	担当区	氏名
飯野校区	山内節子	加久藤校区	富田和美
上江校区	山本ハヤ子	真幸校区	上水順子

※名前については、敬称略

宝くじ助成で鼓笛隊セットを整備 防災教育に役立てます

財団法人自治総合センターの宝くじの助成を活用し、ふじ幼稚園に鼓笛隊セットが整備されました。これは、宝くじ助成を活用して贈られたものです。

同センターでは、幼年消防クラブの育成や防火思想の普及啓発などを目的とした助成を行っています。

贈られたのは、総指揮杖、大・中・小の太鼓、シンバルなどです。鼓笛隊セットは、運動会や防災・防犯関連のイ

ベント等に使われ、防災啓発普及活動に役立てられます。

ふじ幼稚園の紫雲真弓理事長は「有意義に使わせてもらいます」と話していました。引き渡し式は、11月18日に市役所で行われました。



鼓笛隊セットを手取る子どもたち

西部地区で実証実験運行中 バスををご利用ください

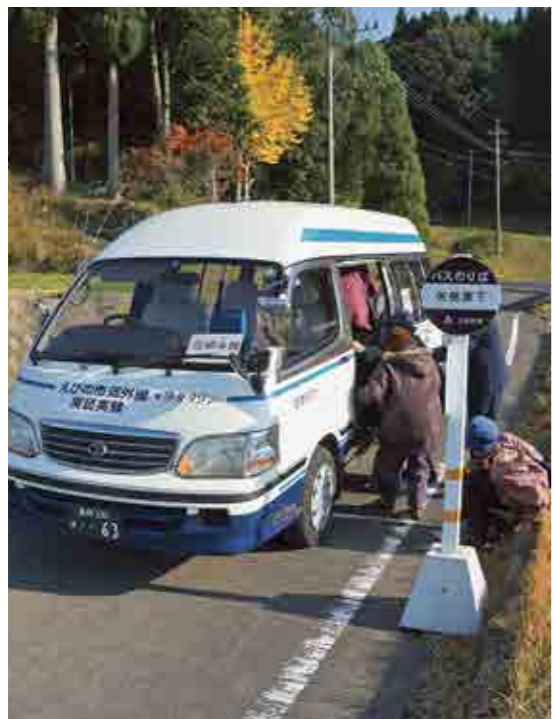
市では、現在、西部地域の4路線（西部線、東川北線、昌明寺線、西内堅線）で、コミュニティバスの実証実験を行っています。運行期間は、来年の9月までです。運賃は1乗車200円で、どなたでもご利用できます。ぜひ一度ご利用ください。

実証実験運行では、利用状況や利用者アンケートなどをもとに、運賃、ルート、運行回数、運行時間、バス停の位置などを検証します。特に、

利用者アンケートは、どのような公共交通体系がえびの市に適合しているのかを検討する上で、貴重な資料となります。利用した場合は、利用して感じたことなど、何でも構いませんので、ぜひ、アンケート調査にお答えください。

※時刻表は、市企画課、真幸出張所、えびの市老人福祉センターやコミュニティバスの車内に置いてあります。

問 市企画課政策係
☎ 35・1111（内線332）



予約なしで全路線、利用できます



ま・ち・の・わ・だ・い



吉都線全線開通100周年で市内4駅を電飾 趣向を凝らしイルミネーション

12月1日、吉都線の市内4駅が鮮やかなイルミネーションで彩られました。駅周辺の住民が中心となり、吉都線の全線開通100周年に合わせて行ったものです。12月1日に行われた点灯式では、各駅で、バンド演奏などが行われました。駅を訪れた人は、音楽とイルミネーションを楽しみました。駅のライトアップの時間は、午後6時～午後11時までです。1月19日まで楽しむことができます。



幼保小連携接続推進モデル事業を公開 垣根をこえて教育連携

11月29日、加久藤小学校で宮崎県幼保小連携・接続推進モデル事業の研究成果の公開が行われました。公開には、県内外から教育関係者ら約150人が参加しました。加久藤小、ふじ幼稚園、加久藤保育園は、宮崎県で唯一、小幼保の連携接続モデル校に指定されました。公開は、2年間の連携の成果を発表するために行われたものです。幼保小の連携は、来年度以降、取り組みを広げて行く予定です。

11月17日、第9回えびの市米・食味コンクールが、えびの市農協本店で行われました。コンクールには、市内から245名の応募がありました。審査では、農業関係者など約90人の審査員が、外観、香り、味などを評価しました。

審査の結果、「ヒノヒカリ」の部は川野坦さん（大溝原）、「にこまる」の部は田ノ畑徳和さん（五日市）、小学校の部は飯野小学校、団体の部は下大河平地区が最優秀賞に輝きました。

第9回えびの市米・食味コンクール お米の味と品質を競う



11月30日、えびの高原アイススケート場で「アイススケート場開き」が行われました。安全祈願の後、訪れた約120人の来場者は、さっそく初滑りを楽しんでいました。同スケート場には、昨シーズン



えびの高原アイススケート場開き

霧氷をバックに初滑り

約3万6千人の来場者が訪れました。今シーズンは、来年3月2日までオープン予定です。テレビを見て訪れた観光客は「小学校以来のアイススケートです。久しぶりに滑ってみると難しかったです」と話していました。



子育て応援フェスティバル in えびの 子育ての大切さを考える

11月24日、市文化センターで子育て応援フェスティバルが行われ、約180人の市民が参加しました。講師には、弁護士の本村健太郎さんが招かれました。これは、地域での子育て支援の輪を広げようと市の主催で行われたものです。本村さんは「行列のできる法律相談所」の演題で、児童虐待防止法などについて、わかりやすく説明。地域での子育ての大切さについて話していました。



宮崎ハープ牛枝肉共進会 枝肉の質を競い合う

10月19日、熊本県球磨郡錦町で第26回宮崎ハープ牛枝肉共進会が行われ、市内の生産者がすばらしい成績を収めました。宮崎ハープ牛は、主に4種類のハープとビタミネEを強化した飼料で育てられています。宮崎県内では、31農場で生産されています。〔宮崎ハープ牛部門〕最優秀賞 原屋敷昭治さん（南原田） 〔宮崎ハープ牛交雑種部門〕最優秀賞 原屋敷昭治さん、優良賞 廣重秀則さん（出水）



宮崎県剣道連盟えびの支部長

鞍津輪 彰さん



刺激になったねりんピック

「県代表の旗を受け取った時、責任の重さを感じました」と話すのは、10月に高知県で開催された「ねりんピックよさこい高知」で宮崎県代表の旗手を務めた鞍津輪彰さん（池島）です。同大会の旗手をえびの市民が務めたのは鞍津輪さんが初めてです。

ねりんピックは、主に60歳以上を対象とする各種スポーツ競技などの総合的な祭典です。鞍津輪さんは、剣道の宮崎県代表として大会に参加しました。

鞍津輪さんがねりんピックに出場しようと思ったのは60歳になった時でした。「全国の同世代の剣士に、自分の剣がどこまで通用するかを試したいと思いました」。最初の挑戦では、出場権を得られず出場ができませんでしたが、63歳になった今年、県予選で優勝し、出場ができました。

県代表を決めてから数週間後、鞍津輪さんに思いがけない電話がかかってきました。宮崎県代表の旗手の話でした。「これほど名誉なことはない、これを断ると二度とこんなチャンスは来ないと思い、引き受けることにしました」

剣道の宮崎県代表として、次鋒を務めた鞍津輪さんでしたが、惜しくも決勝リーグに進むことはできませんでした。「全国の強者が集まる大会です。決勝リーグ進出は、そう簡単にはいかない」と思っていました。試合は隙を見せた方が負けるといふハイレベルの戦いでした。同世代の剣士と戦うことができ、大変、刺激になり、勉強にもなりました」と大会を振り返ります。



目標を立て向き合った剣道

鞍津輪さんは、中学生から剣道を始め、高校卒業までには、二段を取り、「県南地域では名を知られた剣士になった」と思っていたそ

うです。しかし、その考えは他の地域との合同稽古で打ち砕かれました。「剣の質の違いを痛感しました。自分は、剣士でなく野武士だったんだなと気付かされました」。それを機に鞍津輪さんは、目標を立て、剣道に打ち込むようになりました。「30代で六段、40代で七段を取得する目標を立てました。その目標に向けて剣道と向き合うことができました」

現在、鞍津輪さんは、宮崎県剣道連盟えびの支部長として、市内の青少年剣士の育成にあたっています。

剣道は人生と似ている

「私が剣道を通じてこれらしたのは、いろいろな人との出会いがあったからこそ」という鞍津輪さん。「お互い支え合い、刺激しあい、切磋琢磨してきました。これからも人との出会いを大切に自分を磨いていきたいです」

「剣道は人生に似ています。学んでも学びきれません。剣道をやってきて約50年ですが、まだまだ上には、上があります。これからも体が続く限り剣道が続けていきます」

生涯、剣道を学び続けたい



Profile
くらつわ・あきら／池島
／63歳／趣味：ゴルフ
(仲間に勧められ、60歳になって始めました)

BOOKS

おすすめの冊



かぜのふえ

やなせたかし/作・絵
(株式会社フレーベル館)

この本は、10月に亡くなられたやなせさんの、これまでに眠っていた作品を新たに刊行。短い童話20篇が詰まっています。その中には、タイトルにもなっている、のはらでみつけた不思議なぎんぐのふえの話「かぜのふえ」や、ゴミを食べる怪獣の話「ドラゴンゴロのうみ」など季節の移ろいを感じさせてくれるものや心温まる話がたくさん詰まっています。



桜島 生きてる大地

宮武健仁/著
(株式会社東京印書館)

桜島が誕生して約2万6千年。今もなお、活火山として噴火を繰り返し、私たちに自然の偉大さを感じさせてくれます。この本では、雄大な桜島の姿だけではなく、噴火によっておこる火山雷が作り出す美しい幻想的な情景や、山野周辺を彩る四季の移り変わりなど、普段見ることができない桜島の新たな一面を見ることが出来ます。

【最近入ったおすすめ本】

- 「たからもの」 北原亜以子 著 講談社
- 「さわらびの譜」 葉室麟 著 角川書店
- 「犬から聞いた素敵な話」 山口花 著 東邦出版
- 「花と葉で見分ける野草」 亀田龍吉 著 小学館
- 「家族の見える場所」 森浩美 著 双葉社

えびの市民図書館

☎35-0242 <http://www.e-tosho.com/ebino/index.html>

■開館時間■ 火曜日～土曜日/午前9時～午後7時 日曜日・祝日/午前9時～午後5時
■休館日■ 毎週月曜日(祝日法に定める休日と重なった場合はその翌日)

◎イベント かるた大会と昔の遊び

- 日時=1月11日(土) 13:30～
- 会場=図書館学習室
- 参加料=無料
- 内容=百人一首、かるた、コマ回し、福笑いなど
- ※鏡開きやぜんざいのふるまいもあります。

読書講演会

- 日時=2月1日(土) 13:30～
- 場所=文化センター2階大研修室
- 講師=かもう よしこ氏
- 演題=「霧島田舎暮らしを愉しむ」

◎1月のスケジュール

月間行事	12月28日～1月4日(日)年末休館
6 日	図書館休館日
8 水	移動図書館車巡回① 14:10～15:35
11 土	かるた大会と昔の遊び 13:30～14:30
	鏡開き・ぜんざいの振る舞い
14 火	図書館休館日
15 水	移動図書館車巡回② 13:20～15:05
17 金	移動図書館車巡回③ 13:20～15:35
18 土	おはなし会 10:30～11:30
20 月	図書館休館日
22 水	ブックスタート(1歳児に絵本配布) 移動図書館車巡回① 14:10～15:35
24 金	喫茶「ふら～っと」営業 9:45～11:00
25 土	おはなし会 10:30～11:30
27 月	図書館休館日
28 火	ドリームカー(子育て支援センター) 10:30～12:00
29 水	図書館休館日(館内整理日) 移動図書館車巡回② 13:20～15:05
31 金	移動図書館車巡回③ 13:20～15:35

※おはなし会:乳幼児10:30～11:00、4歳以上11:00～11:30

※移動図書館巡回

①飯野駅前地区体育館→飯野出張所

②岡元小学校→市立病院→さくら苑

③飯野地区公民館→警察署官舎→老人福祉センター

心の一首一句

あなたもつくってみませんか。

短歌

つぎつぎと水飲み終えし鹿の群
芒の原に紛れてゆきぬ
原田 岡本克子

華やかな彩りに燃えた秋が過ぎ、水辺で水を飲み霧ふる芒の中へ去って行く鹿を見て、枯野を包む柔らかな冬の「光」と「風」の来し方、行く末に自分を重ねる作者がいる。静寂で詩情あふれる作品である。(評竹下妙子)

俳句

冬日和長く正しき篝の目
白鳥 中堀ふじ子

宮崎神宮に行った時にできた句です。社の中では、さまざまな人と出会いました。中でも花嫁行列が人々の目を引き付けていました。花嫁はもちろん、玉砂利を踏みしめて行く人々の前の篝の目も綺麗さに見えと思わず若い二人のこれからの幸多きことを祈りました。(自註)

詩

詩心に学ぶ

飯野麓 田中虎夫

音もなく冷雨降り続く三年前の晩秋
なかなかに眠れず！身悶えていた真夜中
妻の枕元から仄かに見えた「単行本」
眠り諦め！灯火薄くそっと読んでみた
くじけないで(柴田トヨ) 詩集だった
純真無垢な作風！引込まれ感銘に嘔ひ
書齋へ移り暖取って何回読んだらうか
深く染みる感動は！何にもかえがたい
いじめ 裏切り さびしさ 恐怖を
乗り越え生きた抜いた希有な人！の詩集が
眠っていた何かを目覚めさせてくれた
学校で楽しく学んだ書くことの悦び
高校生でNHK入選をも心薄らいでいた
翌年「ボエム同好会」に仲間入り 詩心
は！豊かな感性と枯淡の境地と学んだ
読書後熟睡！とかくあの夜が懐かしい



環霧島探訪

先月号から始まった本企画。第2回は霧島市の11の駅の中からJR九州肥薩線の嘉例川駅と大隅横川駅を紹介いたします。

両駅は、ともに明治36(1903)年の開業です。今年、鹿児島県内最古の木造駅舎として110年目を迎えました。平成18年には、国の登録有形文化財となり、漆喰の壁や木枠の窓などの趣が多くの人を惹きつけます。特急「はやと」の風も停車し、休日は鉄道ファンも多く訪れます。

【嘉例川駅】



霧島市隼人町嘉例川にある無人駅で、夜は竹灯籠が灯り、駅前広場では季節のイベントが開催されます。駅前には公園や「小さな博物館」もあります。



【大人気の駅弁】

駅舎内では、駅弁「百年の旅物語かきい川」が土日祝日限定で販売されています。竹の子ご飯や煮物、がねなどが入った田舎弁当で、九州の駅弁ランキングでは平成19年から3年連続1位を獲得しました。

【大隅横川駅】

霧島市横川町にある無人駅で、昔は山ヶ野金山で採掘された金の運搬駅として活躍。駅舎では季節の飾り付けや地域の子どもたちの絵画展など多くの催しが開催されます。第1・第3日曜開催のぼっぽ市では横川発祥の郷土菓子「げたんは」などを販売しています。

【現存する戦争の記録】

ホームの柱に残る戦時中に機銃掃射で打ち抜かれた痕跡が空襲の激しさを今に伝えています。駅舎では毎年夏に平和を祈るコンサートが開催されます。

EVENTS OF KANKIRISHIMA

都城市

都城ぼんち市



- 日時=1月12日(日) 午前9時～
- 場所=都城市東中通り
- 内容=都城市の中心市街地で毎月第2日曜日に開催中の「都城ぼんち市」。地元の農畜産物や加工品、新鮮な魚介類などを軽トラックや店舗に陳列し販売。多くの買い物客でにぎわいます。

☎都城市商工会議所 ☎0986-23-0001

高原町



たかはるよりどり交流市

- 日時=1月19日(日) 午前8時～午前11時30分
- 場所=高原町中央商店街
- 内容=商店街に30台～40台の軽トラが並びます。月によって内容が変わる無料のふるまいや体験コーナーなどが行われます。

☎たかはるよりどり交流市運営協議会 ☎42-1839

年末・年始を安全に



年末・年始は、重大な事件や忘年会・新年会等での飲酒で交通事故が多い時期です。

次のことに留意し、飲酒運転の根絶に努めましょう。

- 「飲んだら乗らない、乗るなら飲まない」の徹底
- 「ハンドルキーパー」を決めて、飲まない人が仲間を安全に自宅まで送り届ける
- 朝、出かける時には、二日酔いでないか確認する

※高齢者を狙った特殊詐欺が増加しています。犯人は、言葉巧みにだましてきます。信用して「すぐに振り込まない」、一人で振り込まないを心掛け、振り込む前に、まず家族や警察に相談するなど、被害に遭わないよう十分注意してください。

11月の交通事故発生状況	人身物件	8件 29件	本年累計 本年累計	99件 289件
--------------	------	-----------	--------------	-------------

年末は早めの受診を



年末になり、ますます冷え込みの強い時期になりました。特に、夜から朝方にかけては、急激な気温の低下によって体調不良になりやすくなります。寝る時や外出するときは、しっかりと防寒対策を行ってください。

毎年、「何日前から痛かった」など、正月を楽しむため、ぎりぎりまで痛みを我慢し、痛みを耐えられなくなってから救急車を呼ぶ人がいます。

救急車は、えびの市に1台しかありません。適切な救急車の利用を心がけてください。体の異変に気づいたら早めに病院で受診してください。

11月の活動状況 【えびの消防署管内】	火災 救急	1件 68件	年計 年計	14件 813件
------------------------	----------	-----------	----------	-------------

まちづくり活動

ぶらいど21基金助成団体の活動紹介



訪れたお客さんに手を振ってお見送り

真幸駅友の会は、年2回のお祭りを始め、観光列車「いさぶろう号」「しんぺい号」に手を振るなど、駅を訪れた人とふれあひながら真幸駅をアピールしています。真幸駅での活動は9年目を迎え、毎週土、日、月曜日の午前9時〜午後3時30分に活動を行っています。日本全国から訪れるお客さまは、幸せを求め、幸せの鐘を鳴らし、入場券を求めに真幸駅に来られます。このように多くのお客さまを

歴史ある駅を次の代へ

真幸駅友の会

迎えることができるようになったのも、地元の人をはじめ、各方面からの協力があったからこそ、と感謝しております。現在、毎週土曜日に子ども駅長を務める栗本啓聖くん（大口東小 学校3年）が人気を呼び、リピーターが多くなっています。真幸駅のある肥薩線には、近隣市町と共に、世界遺産に登録しようという運動があります。これは県民全体にとって大きな夢だと



真幸駅友の会
会長 前川京子さん

思います。私たち真幸駅友の会も、この大きな夢を追いかけ、できることからお手伝いできるような努めていきたいと思っています。これからもえびの市の活性化を目指し、おもてなしの心で発展的に活動していきたいと思っております。

男女共同参画



積極的改善措置（ポジティブ・アクション）

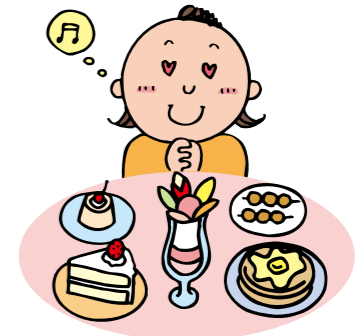
積極的改善措置（ポジティブ・アクション）という言葉をご存じですか。積極的改善措置とは、人種や性別などに由来する事実上の格差がある場合に、それを解消して実質的な平等を確保するための取り組みをいいます。例えば、「営業職に女性はほとんどいない」「管理職は男性が大半を占めている」等の差が男女労働者の間に生じている場合、このような差を解消しようと、企業が

行う自主的で積極的な取り組みをいいます。このことに取り組むことで、労働者の能力発揮を促進するだけでなく、「労働意欲の向上」「多様な人材による新しい価値の創造」など企業にもさまざまなメリットがあると考えられます。経済・社会に活力をもたらすには、女性の社会進出を促すことが欠かせません。国は、女性の活躍を成長戦略の中核をなすものと位置づけ、社会や職場の意識を変

え、女性の活躍の場を広げるための取り組みを進めています。行政分野でも、政策・方針決定過程への女性の参画が少ないことから、2020年までに指導的地位に女性の占める割合を30%にしようという目標値を設定しています。誰もが、その持てる能力を発揮しつつ社会の中で自己実現を図るために、積極的改善措置はとても大切な取り組みです。皆さんの身近なところには、見直すべき格差はありませんか。

文：市民協働課

いきいき!健康



砂糖をとりすぎているいませんか？

お菓子や菓子パン、甘い飲み物（ジュース、加糖コーヒーなど）に多く含まれる砂糖は、穀類などに含まれる糖質よりも吸収が早く、摂取すると急激に血糖を上げてしまいます。そのため、上がった血糖を下げるためのインシュリンというホルモンが多く必要になります。インシュリンは、余った糖分を中性脂肪に変えて肝臓に蓄える働きもしています。

インシュリンは、分泌に限界があるだけでなく、健康な人でも60歳を過ぎるころから分泌量が減ると言われています。砂糖を取り過ぎると、分泌されるインシュリンでは処理しきれず、糖分は血液中に残ります。また、肝臓に蓄えた中性脂肪も使われず、残った状態になります（脂肪肝）。健診で血糖やヘモグロビンA1C（エーワンシー）、中性脂肪が高い人は、砂糖をとり過ぎている場

合が多く見られます。生活習慣病を予防するためには1日の適量（20g以下）を守ることが大切です。【含まれる砂糖のめやす量】あめ玉4個≒17g、チョコ10かけ≒20g、アンパン1個≒23g、もなか1個≒30g、ショートケーキ1個≒29g、カステラ1切≒37g、砂糖入り缶コーヒー1缶（190ml）≒17g ※糖尿病治療中の人は、医師の指示に従ってください。

文：中原栄養士

えびの市人権を考える市民のつどい



第23回「人権を考える市民のつどい」を開催します。今回は、熊本県出身の義手の詩人・画家で「風の丘阿蘇大野勝彦美術館」の館長、大野勝彦さんを講師に招きます。大野さんは、45歳のとき、農業機械による事故で両腕を切断し、義手になった自分自身の経験をもとに講演活動をしています。市民の皆さん多数のご来場をお待ちしています。

【日時】1月26日(日)午後1時～午後3時

【場所】市文化センターホール

【演題】「みんなやさしさの根っこでつながっている」

【講師】大野勝彦さん

【入場料】無料

※入場整理券が必要です。入場整理券は、総務課人権啓発室、飯野出張所、真幸出張所、文化センターで配布しています。

※託児を希望する人は、1月21日(火)までに人権啓発室へ申し込みください。

申・問市総務課人権啓発室

☎35-1111 (内線350)

所得税、市県民税・国民健康保険税の申告準備はお早めに

平成26年度(平成25年分)所得税、市県民税・国民健康保険税の申告に向けて、早めに準備を済ませましょう。

○農業を営んでいる人へ

【収入・経費の分類整理】

出荷伝票等については、作物ごとに分類整理して保管しましょう。作物の生産に要した費用に係る領収書等についても肥料代、農薬代、飼料代、種苗代、燃料代等、それぞれの経費ごとに分類整理して保管しましょう。また、収穫した作物(特に水稲)は、自家消費や贈答用も収入として扱われるので、数量を必ず把握しましょう。

※農業の収支内訳書を作成し、申告時に提出すると申告相談をスムーズに行うことができます。収支内訳書の用紙は、市役所本庁税務課および出張所で配布しています。

【牛を出荷した場合】

出荷した牛による収入やそれに要した手数料等を把握する必要があります。「売却証明書」と「セリ売証」については「二枚一組」のまま保管しましょう。

※添付または提示がない場合は、免税牛の特例を受けられません。

○確定申告をする人へ

【社会保険料控除】

国民年金保険料等に係る社会保険料控除を受けるには、支払った保険料等の金額を証する書類が必要です。年金保険者等が発行する「控除証明書」を大切に保管しましょう。

【生命保険料控除・地震保険料控除】

生命保険、介護医療保険、個人年金に係る生命保険料控除を受けるには、「生命保険料控除証明書」が必要です。また、地震保険料控除を受ける場合も「地震保険料控除証明書」が必要ですので大切に保管しましょう。

問税務課市民税係

☎35-1111 (内線213・216)

償却資産の申告はお早めに

えびの市内で事業のために使用している機械・設備・備品などの償却資産がある人は、平成26年1月31日(金)までに償却資産申告書を税務課固定資産税係へ提出してください。

申告用紙は12月中に送付しましたが、新しく事業を始めた人や、以前から事業を営んでいて申告用紙が届いていない人は、固定資産税係まで申し出てください。

○新設の事業所は、対象となる全部の償却資産を申告してください。

○既設の事業所は、平成25年1月2日～平成26年1月1日に増加または減少した償却資産を申告してください。償却資産の増減がない事業所は、申告書備考欄にその旨を記入し、申告してください。

○10キロワット以上の太陽光発電設備については、課税標準の特例(取得の翌年から3年度分に限り、課税標準額を3分の2に軽減)が適用されます。対象資産を取得した人は、経済産業省が発行した「再生可能エネルギー発電設備の認定について(通知)」の写しと電気事業所と締結している「特定契約書」の写しを提出してください。

問市税務課固定資産税係

☎35-1111 (内線212・215)

未登記家屋の所有移転と減失の申告はお早めに



固定資産税は、毎年1月1日現在の状況に基づいて課税されます。年の途中で、登記をしていない家屋の所有権移転した場合や減失(取り壊し等)した場合は、速やかに税務課固定資産税係まで申告してください。

申告がないと確認ができないため、翌年度も現在の所有者に対して課税することになります。忘れずに申告をお願いします。

問市税務課固定資産税係

☎35-1111 (内線212・215)

夜間と休日の労働相談

宮崎県労働委員会では、労働者と使用者との間の職場

でのトラブルに関する無料相談を実施しています。

次の期間は、平日夜間、土、日曜日にも相談できます。現在、トラブルを抱えている人はもちろん、職場でのちょっとした疑問など、労働問題のことならなんでも結構ですので気軽に問い合わせください。

【期間】1月6日(月)～12日(日)

【時間】平日:午前8時30分～午後8時

土、日曜日:午前9時～午後5時

【対象者】県内事業所に勤務する労働者またはその使用者

【場所】宮崎県労働委員会事務局(県庁3号館6階)

【相談方法】電話、面接、ファックス、メール

※土、日曜日に相談を面接を希望する場合は、電話連絡をお願いします。

問宮崎県労働委員会事務局調整審査課

☎0985-26-7538

放送大学4月入学生募集

宮崎放送大学宮崎学習センターでは、平成26年4月入学生を募集しています。

放送大学は、テレビ等の放送やインターネットで授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、さまざまな目的で、幅広い人が学んでいます。

【募集学生の種類】

[教養学部]

科目履修生(6か月間在学し、希望する科目を履修)

専科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)

全課履修生(4年以上在学し、卒業を目指す)

[大学院]

修士科目生(6か月在学し、希望する科目を履修)

修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

【出願期間】平成26年2月28日まで

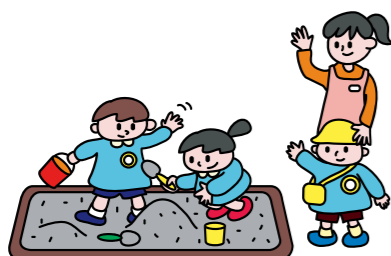
※資料は、無料です。資料請求は、電話もしくは、放送大学ホームページでも受け付けています。

問宮崎放送大学宮崎学習センター

☎0982-53-1893

ホームページ <http://www.ouj.ac.jp>

平成26年度保育所(園) 入所案内



市内認可保育園および市外認可保育所(園)の平成26年度4月入所の申込書受け付けを行います。

【入所基準】

えびの市内に居住していて、保護者および同居する祖父母が次のような理由で子どもの保育が家庭でできないと認められる場合に保育所(園)の入所を決定します。

家庭外労働	家庭外で仕事をしている
家庭内労働	家庭内で児童と離れて日常の家事以外の仕事をしている
妊娠・出産	出産前後である(産前2か月、産後3か月程度)
疾病・身体障害等	病気、負傷または心身に障害がある
病人の介護	家庭内に長期にわたる病人や心身に障害のある人がいて、常時介護の必要がある
家庭の災害	震災、風水害、火災などの災害復旧にあたる
その他	以上と類する状態であって児童の保育ができない

【申込方法】必要書類一式を市福祉事務所、飯野・真幸出張所、市内各認可保育園で、12月24日(火)から配布します。申込書一式に同封している「保育所(園)入所案内」を確認の上、提出をお願いします。

【申込受付】

受付日時	受付場所
1月20日(月) 午後3時～6時	飯野保育園
1月21日(火) 午後3時～6時	加久藤・加久藤乳児保育園
1月22日(水) 午後3時～6時	上江・和光保育園
1月23日(木) 午後3時～6時	真幸・なかよし保育園

※都合の悪い人は、1月24日(金)以降、市福祉事務所で受け付けます。

詳しいことは、市福祉事務所子育て支援係までお問い合わせください。

問市福祉事務所子育て支援係

☎35-1111 (内線267・269)

教育資金の融資のご案内

市では、九州労働金庫(ろうきん)と提携して教育資金の融資を行っています。これは、子どもの教育を促し、市民の生活安定と福祉の増進に役立てることを目的としています。

【利用できる人】

・市内に居住している人で、子どもが高校・専門学校・短大・大学などへの入学が決定した人、または在学している人

・市税などを滞納していない人

※融資の決定については、九州労働金庫の審査があります。

【融資金額】200万円以内

【年利】1.35% (保証料別)

問市学校教育課総務係

☎35-1111 (内線412)

問九州労働金庫小林支店

☎23-1000

年末年始のごみ収集と美化センターへの持ち込みについて

美化センターでは、年末に特別収集を実施します。

【地区ステーションの年末特別収集】

年末の12月29日(日)と30日(月)に、市内全域の地区ステーションのごみを収集します。当日の午前8時30分までに決められたごみを地区ステーションに出してください。粗大ごみは、地区のごみステーションには出せません。美化センターへ直接持ち込んでください。

なお、資源ステーションに出すごみについては、特別収集しません。

日程	ごみの種類
12月29日(日)	「燃やせないごみ」と「空き缶・空きびん」
12月30日(月)	「燃やせるごみ」と「プラスチック製容器包装」

※年始は、1月6日(月)から通常どおり収集します。

【美化センター稼働日程】

期日	利用・休	利用時間
12月28日(土)	利用可	午前8:30～12:00(午前中のみ)
12月29日(日)	利用可	午前8:30～12:00 午後1:00～5:00
12月30日(月)	利用可	午前8:30～12:00(午前中のみ)
12月31日(火)～1月3日(金)	休み	利用できません
1月4日(土)	利用可	午前8:30～12:00(午前中のみ)
1月5日(日)	休み	利用できません
1月6日(月)	利用可	午前8:30～12:00 午後1:00～5:00

問えびの市美化センター

☎33-5782

南九州駅伝競走大会のため交通規制が行われます

平成26年2月2日(日)、第68回南九州駅伝競走大会が

開催されます。安全で円滑な運営を行うため、選手通過予定時刻前後には、交通規制が行われ、その時間帯には交通渋滞が予想されます。お出かけの際は、早めに家を出るか、う回路をご利用ください。

【選手通過予定時刻】

	中継所	通過予定時刻
スタート	えびの市・真幸地区体育館	10:00
第1中継所	えびの市・セブンイレブンえびの飯野店前	10:35
第2中継所	小林市・河島木材工業(株)前(西小林)	10:53
第3中継所	小林市・靴の小笠原前(小林駅前)	11:14
第4中継所	高原町・フリーウェイ工業団地南口前	11:37
第5中継所	都城市高崎町・ローソン高崎大牟田店前	12:04
第6中継所	都城市立志和池小学校前	12:34
ゴール	都城市役所玄関前	13:06

問南九州駅伝競走大会事務局(都城市スポーツ振興課内)

☎0986-23-9546

帰化申請書等の手続きは宮崎地方法務局で

えびの市に居住している外国人・日本人が、次の手続きをする場合、宮崎地方法務局都城支局(都城市上町2街区11号都城合同庁舎)で行っていますが、平成26年1月1日(水)以降は、宮崎地方法務局での取り扱いとなります。

- ①帰化申請(外国人が日本国籍を取得)
- ②国籍取得届出(外国人が日本国籍を取得)
- ③国籍離脱届出(外国籍も有する日本人が日本国籍を離脱)

詳しくは、宮崎地方法務局戸籍課(宮崎市別府町1番1号)にお問い合わせください。

問宮崎地方法務局戸籍課

☎0985-22-5250



◎今月の表紙

今月の特集で取材をした入佐さん夫妻。大好きな牛の前で自作の歩行器とともに写真撮影しました。

今月の納税

固定資産税 第3期、国民健康保険税 第6期
後期高齢者医療保険料 第6期
介護保険料 第5期

12月25日(水)までに納めましょう。

人口 20,387人(-21人)

男性/ 9,534人(-13人) 女性/ 10,853人(-8人)

転入/ 36人 転出/ 38人

出生/ 8人 死亡/ 27人

世帯数 8,995世帯(-6世帯)

(平成25年12月1日現在)

今月の特集で多くの高齢者と話をすることができました。話しをうかがった皆さんは、とても元気。時折、見せる笑顔は、とてもすてきでした。皆さん、若いもんから元気をもらわないとと話していましたが、逆に私の方が皆さんからパワーをもらいました。(川野)

Editor's



写真:白鳥山から白紫池と韓国岳(平成21年12月21日)

「えびの高原の雪と氷」

積もった雪が月の光を反射して、柔らかな光を放つ
夜などは、まるで美しいおとぎの国

12月も末になると、えびの高原では本格的に雪が降りはじめます。一面真っ白に降り積もって道や木々を覆い隠し、見慣れたはずの場所が知らない場所のように見えます。白い雪が青い空に映えきらきらと輝く景色、また積もった雪が月の光を反射して柔らかな光を放つ夜などは、まるで美しいおとぎの国に迷い込んだようです。

暖かい南九州にあるえびの高原では、雪は降っても根雪にならずに溶けてしまうことがほとんどです。30年ほど前までは1m近く積雪があったそうですが、近年は30cmを越えることはほとんどありません。

昭和末までは白紫池が天然のスケートリンクでしたが、温暖化に伴い氷が薄くなり、現在では全面結氷しない年もあります。平成元年からはえびの高原内に造られた人工スケートリンクが使われています。日本最南端の屋外スケートリンクで、広い空の下、韓国岳を眺めながら滑走できます。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

白紫池

白紫池は、白鳥山の南東側火口縁で起きた噴火によりできた直径約250mの浅い火口湖。その溶岩は六観音御池にせり出すように分布している。